

令和3年度 第1回 川内川学識者懇談会

せん だい 川内川総合水系 環境整備事業

- ① 事業採択後3年経過して未着工の事業
- ② 事業採択後5年経過して継続中の事業
- ③ 着工準備費又は実施計画調査費の予算化後3年経過した事業
- ④ 再評価実施後5年経過した事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業



1. 川内川流域の概要 [川内川の概要と特徴]

【川内川の概要】

- ・ 流域面積 : 1,600km²
- ・ 幹川流路延長 : 137km
- ・ 流域内市町村 : 6市4町
- ・ 流域内人口 : 約19万人(平成22年国勢調査)

■ 各区間の特徴

<上流部(鶴田ダム～上流端)>

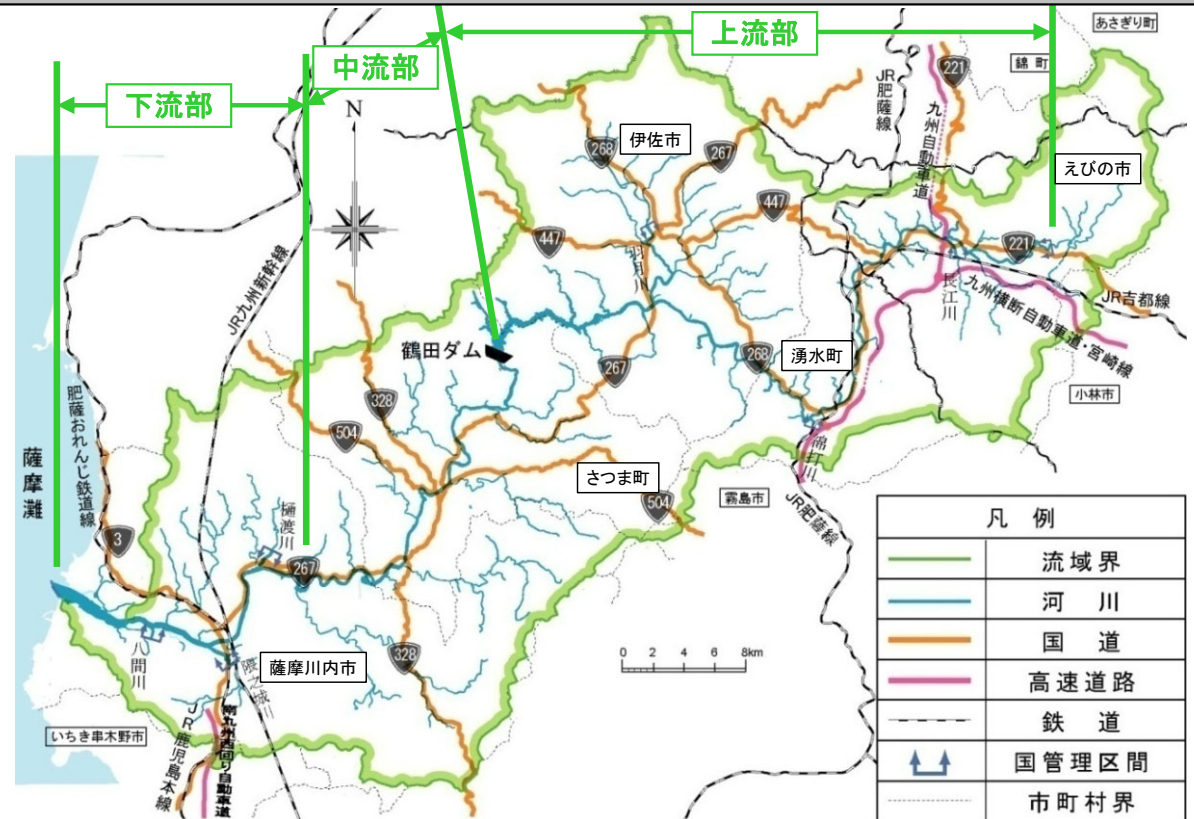
- ・ 上流部のえびの市は、クルソン峡、京町温泉等の豊かな観光資源や歴史的資源に恵まれ、湧水町、伊佐市では、稲作等の農業や温泉等による観光産業が盛んである。
- ・ 川内川は、曾木の滝等の景勝地における観光、カヌー大会・練習等に利用されている。
- ・ えびの市は、九州自動車道及び宮崎自動車道の基幹交通施設により、交通の要衝となっている。
- ・ 国定指定天然記念物のチスジノリ発生地があり、鹿児島県指定天然記念物のカワゴケソウが生育している。

<中流部(樋脇川合流点付近～鶴田ダム下流)>

- ・ 中流部のさつま町では、稲作等の農業や温泉等による観光産業が盛んである。
- ・ 川内川は、ボートレース大会、アユ漁、ホタル舟運航等に利用されている。
- ・ 山間部を蛇行しながら流れており、瀬にはアユ等、淵にはニゴイ、水際にはカワニナを餌とするゲンジボタルが生息している。河畔林はカワセミ等の止まり木となっており、豊かな自然に恵まれている。

<下流部(河口～樋脇川合流点付近)>

- ・ 下流部の薩摩川内市は、人口・資産が集中し、川内川は、日常的な散策や花火大会、ボートレース競技大会等のイベントの場などとして多くの市民に利用されている。
- ・ 感潮区間であるため、汽水・海水魚が生息し、河口付近に干潟や塩生植物・砂丘植物が分布する。



1. 川内川流域の概要 [川内川の利用状況]

＜川内川の利用状況＞

◆川内川の河川空間は、曾木の滝、湯之尾滝等の景勝地における観光、河川敷や堤防における散策やスポーツ、サイクリング、花火大会、河川内におけるボートレース・カヌー大会・練習、ホタル鑑賞、アユ漁など、多岐に利用されている。



川内川花火大会
(薩摩川内市/下流域)



川内レガッタ
(薩摩川内市/下流域)



ホタル舟運航
(さつま町/中流域)



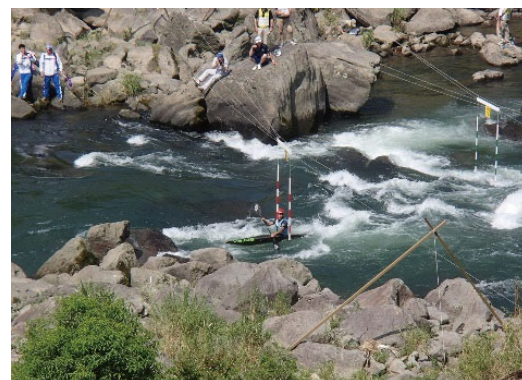
サイクリング
(えびの市/上流域)



曾木の滝
(伊佐市/上流域)



ドラゴンボートレース大会
(伊佐市/上流域)



カヌー競技大会
(湧水町/上流域)



環境学習活動
(えびの市/上流域)

1. 川内川流域の概要 [川内川水系の目標]

＜河川環境の整備と保全に関する目標＞ (川内川水系河川整備計画抜粋)

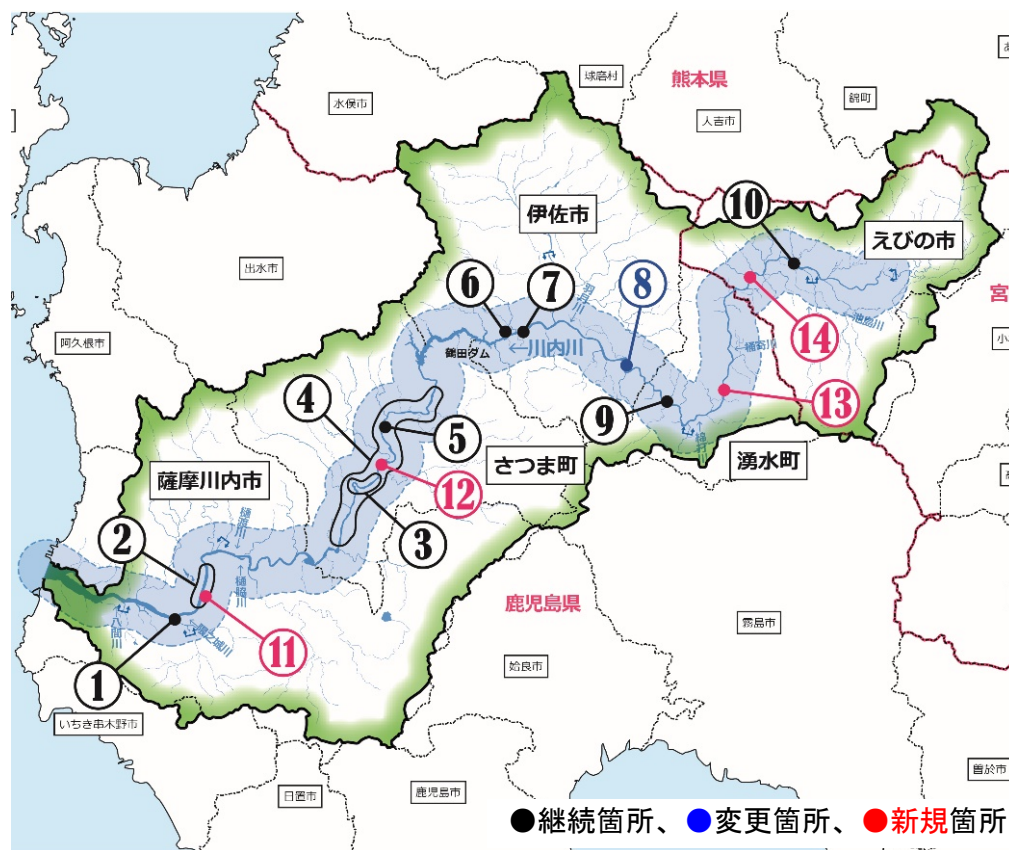
- ◆川内川と流域の人々との歴史的・文化的なつながりを踏まえ、川内川の流れが織りなす良好な河川景観や、重要種であるチスジノリ、カワゴケソウをはじめ、多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境の保全及び創出を目指すこととしている。
- ◆環境学習や憩いの場として地域に親しまれ、活力ある川を次世代に引き継ぐものとしている。
- ◆川内川の良好な自然環境や、望ましい利用空間の保全を図ることとしている。
- ◆陸域と水域、上下流や本支川等のような空間的なつながりや、流域の歴史・文化と現在社会の時間的連続性、川と地域と人とのつながりなど、動植物の生息・生育・繁殖環境、魅力ある水辺空間の確保の観点から、損なわれた様々なつながりの復活を目指すこととしている。
- ◆水質については、環境基準を継続して満足させることに加え、川内川が「日本一の清流」となるようさらなる水質の向上に努めることとしている。

1. 川内川流域の概要 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

<事業評価（再評価）対象事業の概要>

◆「川内川水系かわまちづくり計画」（変更）を踏まえ、川内川水系全体での水辺整備について、水系一体として事業評価（再評価）に諮るものである。

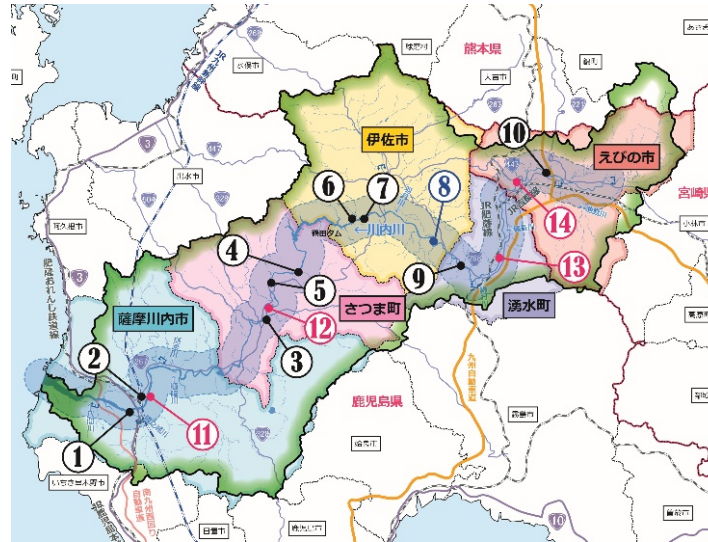
事業名	区分	箇所名	事業期間	備考
川内川総合水系環境整備事業	水辺整備	① 向田地区 (鹿児島県薩摩川内市)	平成22年度 ～令和13年度	継続箇所
		② 薩摩川内市街部 (鹿児島県薩摩川内市)		継続箇所
		③ 宮之城屋地・虎居地区 (鹿児島県さつま町)		継続箇所
		④ さつま町(ホタル)地区 (鹿児島県さつま町)		継続箇所
		⑤ さつま町(湯田)地区 (鹿児島県さつま町)		継続箇所
		⑥ 鶴田ダム湖周辺 (鹿児島県さつま町・伊佐市)		継続箇所
		⑦ 曾木の滝周辺 (鹿児島県伊佐市)		継続箇所
		⑧ 湯之尾地区 (鹿児島県伊佐市)		変更箇所
		⑨ 轟地区 (鹿児島県湧水町)		継続箇所
		⑩ 湯田地区 (宮崎県えびの市)		継続箇所
		⑪ 天辰地区 (鹿児島県薩摩川内市)		新規箇所
		⑫ 時吉地区 (鹿児島県さつま町)		新規箇所
		⑬ 阿波溪谷地区 (鹿児島県湧水町)		新規箇所
		⑭ 京町温泉地区 (宮崎県えびの市)		新規箇所



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

<事業の概要・目的>

- ◆川内川沿川に位置する5市町の連携による、川内川水系14地区（当初9箇所、変更1箇所、追加4箇所）のかわづくり、まちづくりにより地域交流・活性化の促進とともに、河川空間利用者の安全性の向上、河川管理の円滑化を図る。
- ◆平成18年出水を契機として整備した治水施設等や既に整備済の水辺も含めて、利活用の拠点をつなぐ新たな河川空間・まち空間の形成を図る。
- ◆かごしま国体を契機とし、イベント開催の場としての河川空間の活用、またそれに乗じて、関係機関連携による周辺地域への観光客誘致を目的としたまちづくりを行うことにより、地域活性化の相乗効果を図る。
- ◆DMO観光推進事業を活用し、川内川を活用した観光・特産品等の振興を図る。



No	整備地区	No	整備地区
①	向田地区 (薩摩川内市)	⑧	湯之尾地区 (伊佐市)
②	薩摩川内市街部 (薩摩川内市)	⑨	轟地区 (湧水町)
③	宮之城屋地・虎居 地区(さつま町)	⑩	湯田地区 (えびの市)
④	さつま町(ホタル) 地区(さつま町)	⑪	天辰地区 (薩摩川内市)
⑤	さつま町(湯田) 地区(さつま町)	⑫	時吉地区 (さつま町)
⑥	鶴田ダム湖周辺 (さつま町・伊佐市)	⑬	阿波溪谷地区 (湧水町)
⑦	曾木の滝周辺 (伊佐市)	⑭	京町温泉地区 (えびの市)

●当初箇所、●変更箇所、●追加箇所



2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

＜川内川水系かわまちづくり計画基本方針＞

○基本的な考え方

- ・ 川内川は、上流えびの市のクルソン峡や、湧水町の阿波溪谷、伊佐市の東洋のナイアガラと呼ばれる曾木の滝、さつま町の轟の瀬、薩摩川内市の長崎堤防がある広大な河口など、素晴らしい河川景観を有しており、散策・サイクリング・釣り、カヌー・レガッタ・ドラゴンボート等、各種イベントが開催されるなど、日頃から多くの地域の方々に利用され、憩いの場となっている。
- ・ しかしながら、水辺に目を向けてみると、安全に水辺に下りられる状況となっていない、安全に河川を利用できる状況となっていない箇所がみうけられる。
- ・ 一方で、市町においては、河川を利用したまちづくり・地域の活性化を図る計画の検討が進められている。



- ・ 個々の整備、個々のまちづくりでは、効果が限定的
- ・ 地域と地域が連携することで、ネットワークを活かした共催イベントの開催による観光・地域交流の促進、各種ツーリズムや各地の温泉等を組み合わせた観光メニューの確立による交流人口の拡大など、単独地域では成し得ない地域活性化を創出



個々にかわづくり、まちづくりを行っていくのではなく、市町が連携することで地域が元気になる、地域が活性化していく、「川内川水系かわまちづくり」を進めていく。

2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

＜整備箇所の概要＞

（１）事業の必要性等

◆川内川流域は、各箇所に地域資源が存在し、観光地等としてにぎわいをみせている。

地域住民は川内川の安全な水辺の利活用を望んでいるものの、高水敷に雑草が繁茂している、荒れ地になっているなど、安全にアクセスしにくい状況や利活用が困難な状況にある。

◆管理用通路、階段護岸、階段工、坂路等の整備、高水敷整正等を行うことで、高水敷の利用および水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保され、河川の利活用による地域活性化や河川景観の向上が可能となる。



安全な水辺へのアクセス、安全な利用ができない状況

2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

(2) 事業の進捗状況

◆ 各地区において、利用の際の安全性を高めるため、管理用通路や階段護岸等の整備を進めている。

	①向田地区	②薩摩川内市街部	③宮之城屋地・虎居地区	④さつま町(ホタル)地区	⑤さつま町(湯田)地区	⑥鶴田ダム湖周辺	⑦曾木の滝周辺	⑨轟地区	⑩湯田地区
位置	川内川10k500～11k800付近	川内川11k000～13k000付近	川内川37k800～38k200付近	川内川31k000～47k000付近	川内川43k000付近	鶴田ダム湖周辺	曾木の滝周辺	川内川83k200～83k600付近	川内川106k000～107k000付近
事業区分	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備	水辺整備
主な整備内容	昇降階段、昇降施設、階段工	高水敷整正、管理用通路、階段護岸工等	高水敷整正、管理用通路、階段護岸工等	管理用通路、階段護岸工	高水敷整正、管理用通路、護岸工等	管理用通路、坂路工、階段護岸工	坂路工、階段護岸工、転落防止柵等	高水敷整正、管理用通路、階段護岸工等	高水敷整正、管理用通路、階段護岸工等
残整備内容	—	高水敷整正	—	—	—	管理用通路、坂路工、階段護岸工	坂路工、階段護岸工、転落防止柵等	—	—
事業費※	7.4億円	6.2億円	3.3億円	0.8億円	0.9億円	1.5億円	2.9億円	1.3億円	3.5億円
事業期間	平成22年度～令和13年度(予定)								
整備完了年	平成24年度	令和3年度(予定)	令和1年度	令和1年度	令和2年度	令和7年度(予定)	令和4年度(予定)	平成30年度	平成29年度

※H22～R3実績

2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

(3) 事業の投資効果

◆整備が完了している向田地区（薩摩川内市）、宮之城屋地・虎居地区（さつま町）、湯之尾地区（伊佐市）、轟地区（湧水町）、湯田地区（えびの市）では、水面でのボートやカヌー、高水敷でのパークゴルフ、堤防での散策等日常的な利用のほか、カヌー競技大会、マルシェ等のイベントにも活用されている。



向田地区



宮之城屋地・虎居地区

令和元年度に整備完了し、水辺へのアクセス性と利用の安全性が向上したことから、地域の伝統行事であるさかなつかみ取り大会等では多くの参加者が集まり、賑わいをみせている。



湯之尾地区

平成29年度に整備完了し、水辺へのアクセス性ととも水面利用(カヌー乗降等)の安全性が向上したことから、大規模なカヌー大会や合宿等で活発に利用されている。



轟地区

平成30年度に整備完了し、水辺へのアクセス性ととも水面利用(カヌー乗降等)の安全性が向上したことから、九州では貴重なカヌースラローム競技場として活発に利用されている。



湯田地区

平成29年度に整備完了、平成30年8月にはパークゴルフ場が利用開始され、多くの利用がみられる。

2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

◆整備が完了したさつま町（ホタル）地区、さつま町（湯田地区）、現在整備中の薩摩川内市街部（薩摩川内市）、鶴田ダム湖周辺（さつま町・伊佐市）、曾木の滝周辺（伊佐市）では、各地域による観光振興や利活用促進等地域活性化の取り組みが進められている。



令和元年度に整備完了し、利用の際の安全性が高まることにより、ホタル観賞等の利便性が向上し、川内川を基軸としたまちの観光振興が図られることが可能となった。（令和2年・令和3年とも感染症拡大の影響によりホタル舟の運航は中止）



令和2年度に整備完了し、アクセス性と利用の際の安全性が高まることにより、温泉街と一体となった水辺空間が形成され、地域の資源を利用した観光メニューの一つとして観光振興が図られることが可能となった。



令和3年度に整備完了予定であり、利用の際の安全性が高まることにより、スポーツやイベント等で多くの人々で賑わい、日常では川内川沿いを散策する人々による利用が促進されることが可能となる。



令和7年度に整備完了予定であり、利用の際の安全が高まることにより、ダム湖（曾木発電所遺構）及び曾木の滝公園との船による回遊など、魅力あるダム空間の形成が図られることが可能となる。



令和4年度に整備完了予定であり、アクセス性と利用の際の安全性が高まることにより、曾木の滝を基軸とした観光振興・地域の活性化が図られることが可能となる。

2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

◆各地においては、環境学習（水生生物調査）や自然体験活動の場としても利用されるとともに、地域住民等による清掃も行われている。

<環境学習・自然体験活動(湯田地区周辺)>



<清掃活動状況(向田地区周辺)>



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

※当初箇所における整備内容の追加（湯之尾地区）及び新たな整備地区（天辰地区、時吉地区、阿波溪谷地区、京町温泉地区）の追加

○「川内川水系かわまちづくり計画」における当初の整備が令和3年度に概ね完成する見込みであるが、令和4年度以降も関係自治体からさらなるかわまちづくりの要望が高まっている。このため、各自治体の取り組みと一体となって新たな水辺整備を進めることで、さらなる地域の活性化・振興を図ることが期待できる地区（1地区）における追加整備とともに、新たな整備地区（4地区）が追加された。（事業費13.9億円）

【川内川水系における水辺整備箇所】

＜前回評価時の整備予定箇所(全10地区)＞






基本方針
豊かな恵みをもたらす川内川を核(軸)とし、“舟”を特色としたかわまちづくり・河川の利活用を推進し、川内川流域一帯かつ連携の下、地域の活性化・振興を図る。

① ウォータースポーツ、アクティビティの普及・推進 ② 地域(観光)資源の活用 ③ 自然環境の保全・整備







＜今回評価時の整備予定箇所(全14地区)＞






基本方針
豊かな恵みをもたらす川内川を核(軸)とし、“舟”と“自転車”を特色としたかわまちづくり・河川の利活用を推進し、川内川流域一帯かつ連携の下、地域の活性化・振興を図る。

① ウォータースポーツ、アクティビティの普及・推進 ② アウトドア、サイクルツーリズムの普及・推進 ③ 地域(観光)資源の活用 ④ 自然環境の保全・整備








□: 当初箇所 □: 今回変更箇所 □: 今回追加箇所

2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

＜整備箇所の概要＞

(1) 事業の必要性等

- ◆「川内川水系かわまちづくり計画」における当初の整備が令和3年度に概ね完成する見込みである。令和4年度以降も関係自治体からさらなるかわまちづくりの要望が高まっており、各自治体の取り組みと一体となって新たな水辺整備を進めることで、さらなる地域の活性化・振興を図ることが期待されている。

追加・変更整備地区	追加・変更箇所の整備の必要性（緊急性）
天辰地区 (薩摩川内市)	・市の土地区画整理事業（平成28年度～令和12年度）と一体型の引堤事業（令和2年度～令和8年度）により生まれる河川空間を大小路地区及び向田地区と連携して活用することで、レガッタ及び自転車を使った活動のさらなる活性化が期待できることから、地元より早期の整備を望まれている。
時吉地区 (さつま町)	・ホテル地区及び湯田地区と連携した「ホテル観賞」を川内川ブランドの一つとして確立することを目標に地元は熱意をもって動いており、現在は河畔林の繁茂により水辺へのアクセスが困難な同地区のかわまちづくりが早急に望まれている。
湯之尾地区 (伊佐市)	・カヌー競技の利活用に重点をおいて整備した同地区は、整備後の良好な環境により、カヌーの大会や合宿等で盛んに利用されている。令和5年度の国体の会場になることもあり、競技場を拡大するため更なる環境整備を早急に望まれている。
阿波溪谷地区 (湧水町)	・阿波溪谷は隠れた景勝地となっており、地元は川内川ブランドの一つとして確立したい思いがある。また、自転車道や散策道として使われている同地区の川沿いの道路はトイレ等の休憩施設がなく、景勝地鑑賞スポットと合わせた休憩空間の整備を早急に望まれている。
京町温泉地区 (えびの市)	・地元団体がバーベキューやキャンプなどのアウトドアイベントを開催しており、また、温泉や商店街との連携を図りながらさらなる河川空間の利活用計画の提案を行うなど、地元の熱意が高い。えびの市による「アウトドアシティえびの」の推進とともに、これらと連携したかわまちづくりが早急に望まれている。

2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

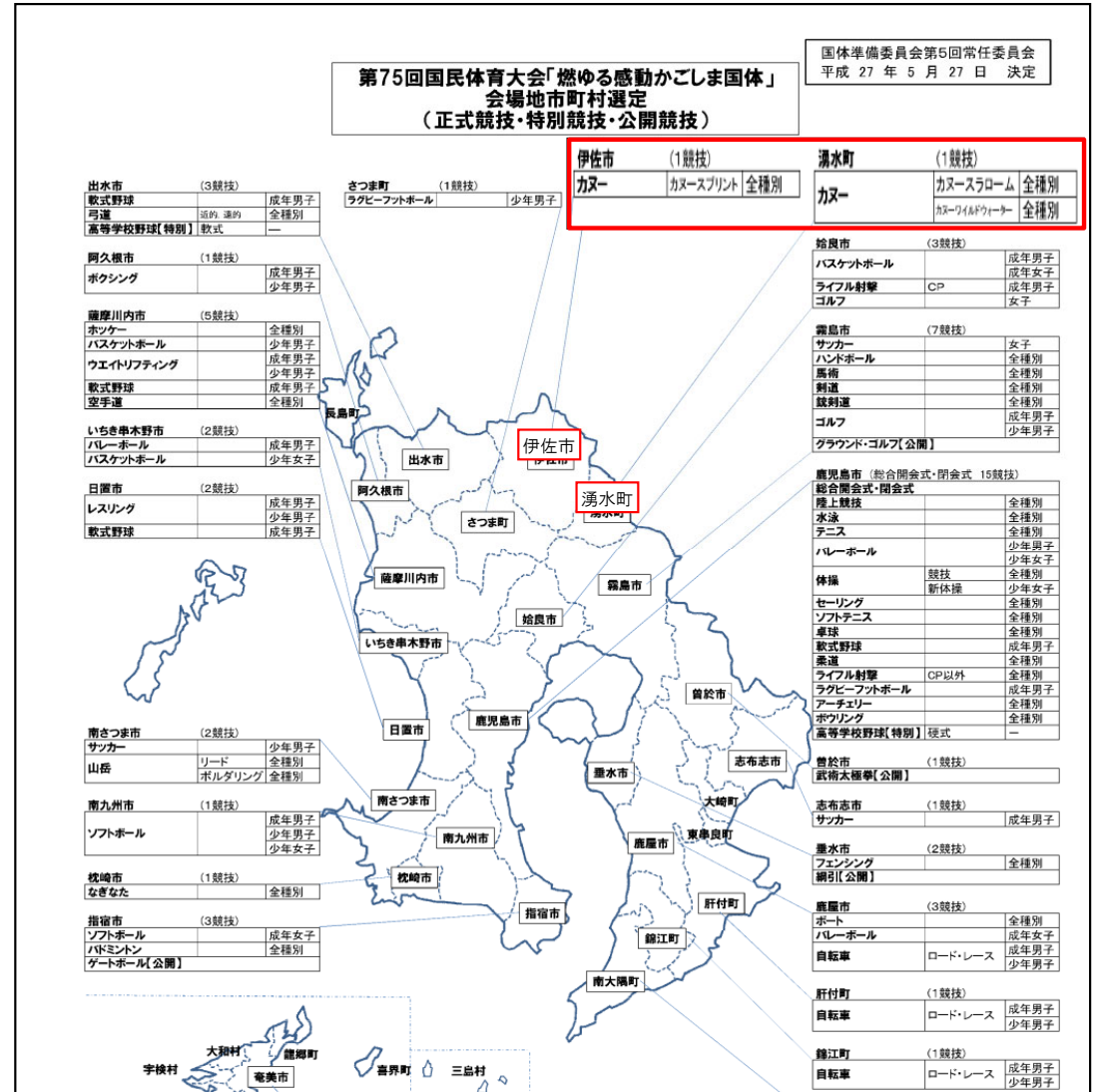
- ◆鹿児島県では、令和5年（2023年）に特別国民体育大会が開催されることが決定している。
- ◆川内川を競技会場として、伊佐市湯之尾地区がカヌースプリント、湧水町轟地区がカヌースラローム及びカヌーワイルドウォーターに決定！！
- ◆国体開催を契機に、将来的にも継続的な県内外の交流が見込まれる。



国体カヌースプリント会場（湯之尾地区）



国体カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター会場（轟地区）



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

(2) 変更箇所概要

⑧湯之尾地区

- ◆湯之尾地区では、「かわまちづくり」により湯之尾堰による長大な湛水区間を利用したカヌー競技場が整備され、カヌー競技大会や合宿に活発に利用されている。利用区域が拡大し、今後もさらなる利活用促進が期待されているが、高水敷に植生が繁茂し水辺にアクセスできないため、河川利用の安全確保に支障が生じている。
- ◆管理用通路の整備及び高水敷整正を行うことで、カヌー利用者の監視が容易となり、河川利用の安全性確保が図られる。また、カヌー競技場の機能拡大（大規模な大会の開催）を図ることにより、伊佐市による「カヌーのまちづくり」が促進されることが期待される。

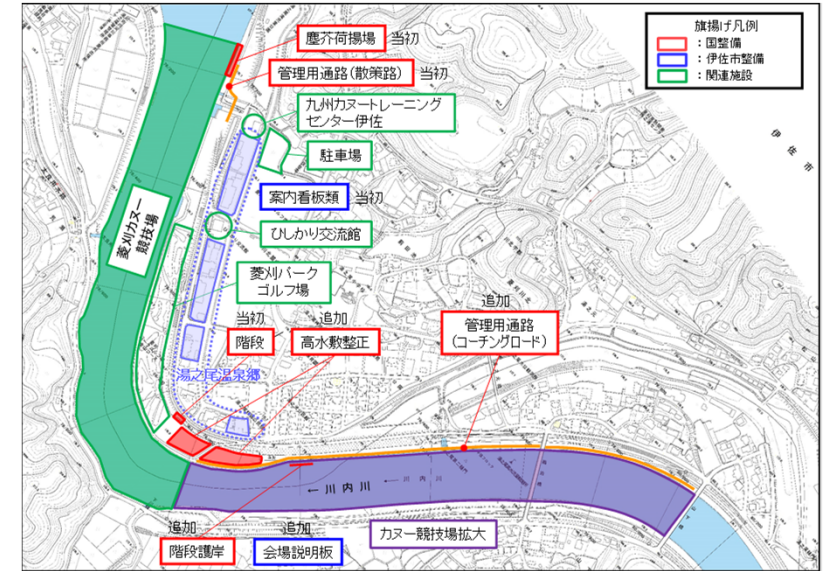
【概要】

位置	川内川78k000～80k000付近
事業区分	水辺整備
主な整備内容	塵芥荷揚場、階段工、階段護岸工、管理用通路、高水敷整正
事業費	4.0億円（予定）
事業期間	平成22年度～令和13年度（予定）
整備完了年	令和5年度（予定）

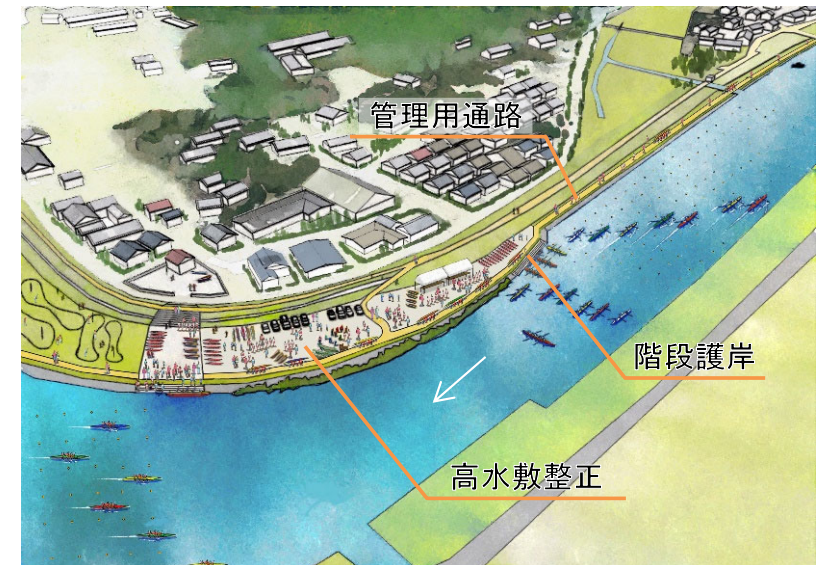
【工程表】

主な工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
塵芥荷揚場		■																				
階段護岸								■					■									
階段		■						■														
管理用通路			■					■					■									
高水敷整正													■									
モニタリング調査									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

【整備内容】



【整備イメージ（拡大箇所）】



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

(3) 追加箇所の概要

⑪ 天辰地区

- ◆ 引堤事業により広大な高水敷が創出され、土地区画整理事業により人口増が見込まれていることから、活発な利活用が期待されている。
- ◆ 管理用通路や階段等の整備を行うことで、川内川へのアクセスが容易となり、河川利用の安全性が確保される。また、広大な高水敷をグラウンドや公園として整備することにより、様々なスポーツや市民の憩いの場として有効活用が図られることが期待される。

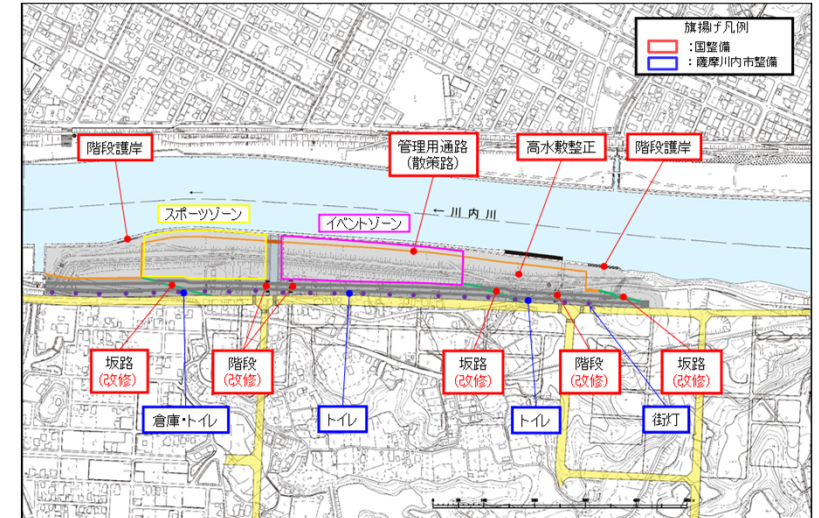
【概要】

位置	川内川13k000～14k200付近
事業区分	水辺整備
主な整備内容	高水敷整正、管理用通路、坂路工、階段工、階段護岸工
事業費	8.4億円（予定）
事業期間	平成22年度～令和13年度（予定）
整備完了年	令和8年度（予定）

【工程表】

主な工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
高水敷整正																							
管理用通路																							
坂路工(改修)																							
階段工(改修)																							
階段護岸工																							
モニタリング調査																							

【整備内容】



【整備イメージ】



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

⑫時吉地区

- ◆ 時吉地区周辺では、水辺の楽校やちくりん館（物産館）等があり、ちくりん館は多くの利用があり、休日には水辺の楽校で楽しむ親子も多い。上流のホタル鑑賞スポットではホタル観賞に多くの人々が集まるが、当該区間は河畔林が連続し、安全に水辺に近づくことができない。
- ◆ 管理用通路及び階段護岸を整備することで、新たなホタルを鑑賞するスポットとなり、ホタル観賞の安全性の確保や促進が図られることが期待される。

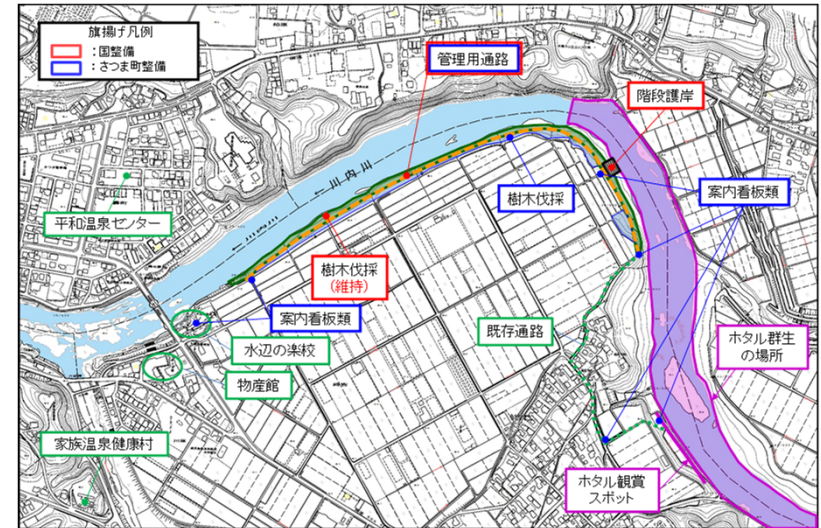
【概要】

位置	川内川38k600～39k800付近
事業区分	水辺整備
主な整備内容	管理用通路、階段護岸工、樹木伐採
事業費	0.7億円(予定)
事業期間	平成22年度～令和13年度(予定)
整備完了年	令和8年度(予定)

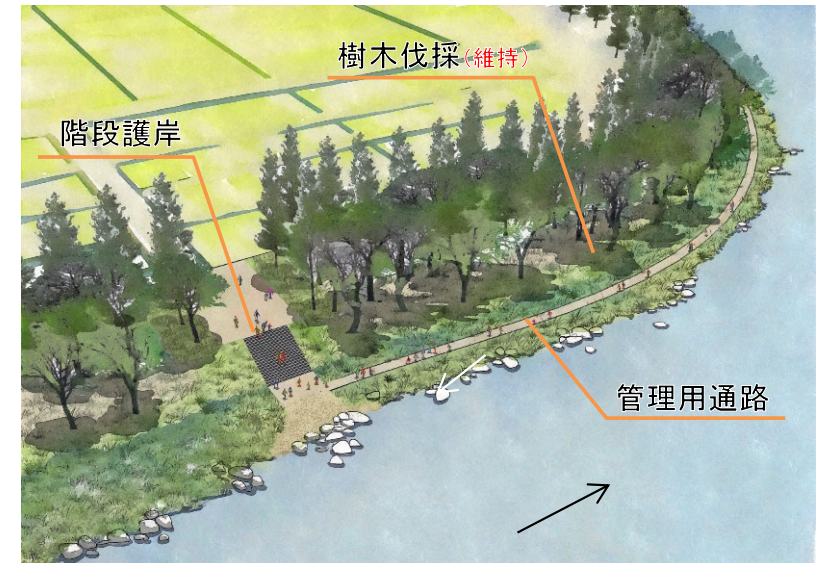
【工程表】

主な工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
管理用通路																■	■					
階段護岸																	■					
樹木伐採 (維持)												■	■	■								
モニタリング 調査																		■	■	■	■	■

【整備内容】



【整備イメージ】



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

⑬阿波溪谷地区

- ◆ 阿波溪谷地区は、四季折々の美しい景観が魅力である。当該地区は、えびの市と湧水町を結ぶサイクリングルート上にあるが、斜面が急なため水辺に近づけない状況である。令和2年11月には、「えびの市・湧水町自転車を活用したまちづくり推進協議会」が設立され、具体的な取り組みが検討されている。
- ◆ 水辺に近づきやすい階段を整備することで、親水利用の促進が図られる。また、湧水町により予定されている拠点整備等と連携して水辺整備を行うことにより、“水を活かした観光地づくりの推進”が図られることが期待される。

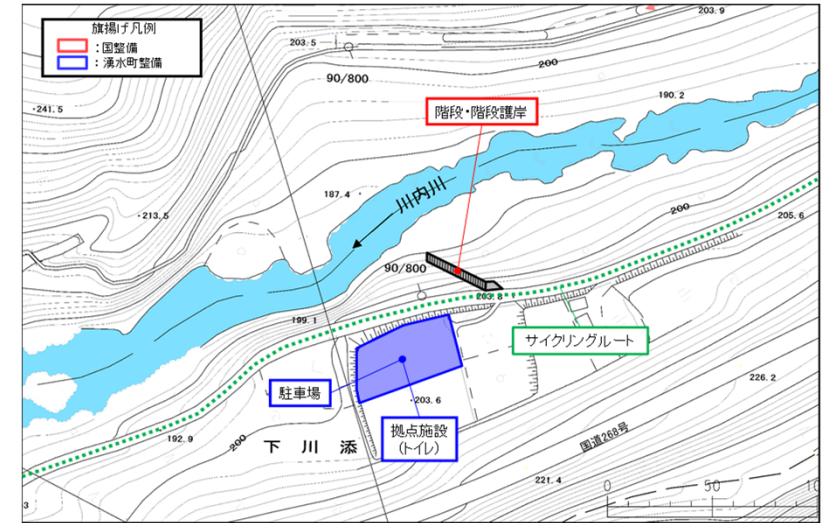
【概要】

位置	川内川90k800付近
事業区分	水辺整備
主な整備内容	階段工、階段護岸工
事業費	1.4億円(予定)
事業期間	平成22年度～令和13年度(予定)
整備完了年	令和8年度(予定)

【工程表】

主な工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
階段																■	■					
階段護岸																■	■					
モニタリング調査																		■	■	■	■	■

【整備内容】



【整備イメージ】



2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

⑭京町温泉地区

- ◆ 京町温泉地区の広い高水敷は、夏祭り花火大会のほか近年では地域住民による親子サイクリングや親子バーベキュー等が開催されるなど、アウトドアイベントの会場としての利用が活発化している。また、地域団体により利活用構想が検討されている。
- ◆ 高水敷整正、階段護岸、管理用通路等の整備を行うことで、高水敷利用及び水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保され、京町温泉等周辺施設と連携した観光・交流拠点としての河川利用が促進されることが期待される。

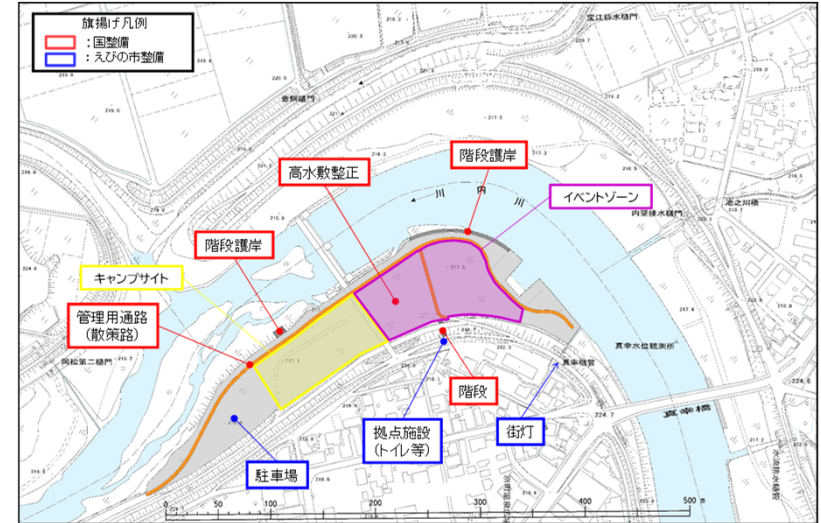
【概要】

位置	川内川101k400～102k000付近
事業区分	水辺整備
主な整備内容	高水敷整正、管理用通路、階段工、階段護岸工
事業費	1.9億円（予定）
事業期間	平成22年度～令和13年度（予定）
整備完了年	令和5年度（予定）

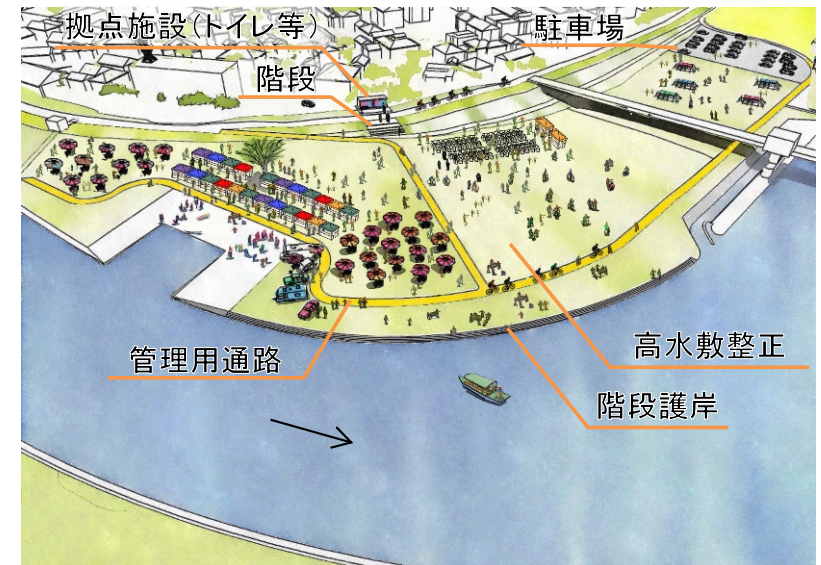
【工程表】

主な工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
高水敷整正													■	■									
管理用通路													■	■									
階段														■									
階段護岸													■	■									
モニタリング調査															■	■	■	■	■	■			

【整備内容】



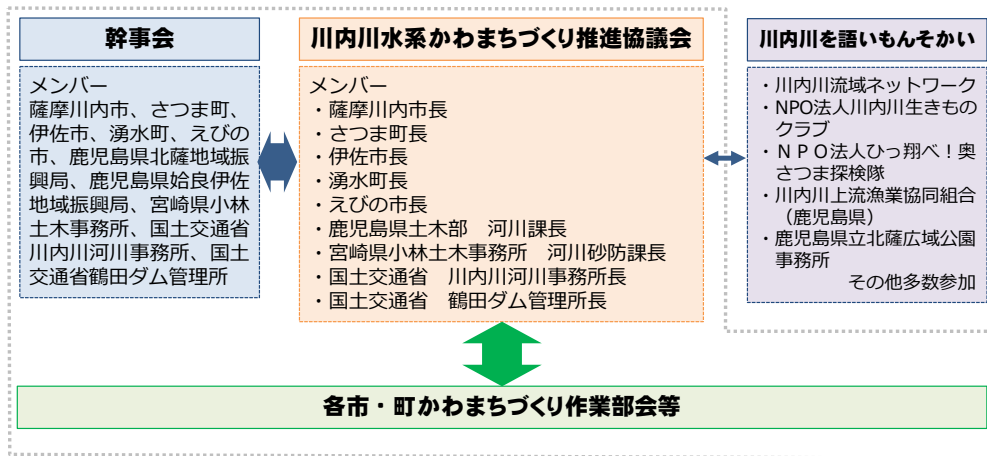
【整備イメージ】



2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

＜事業の推進体制＞

- ◆かわまちづくりの推進体制として、「川内川水系かわまちづくり推進協議会」を設置し、その下に、各関係機関で組織された幹事会、具体的な内容について協議を行う地区住民代表も参加する地区協議会、作業部会で組織する。
- ◆川内川で活動する「川内川を語いもんそかい」は、オブザーバー的役割を担う。地域の意向を計画に反映するため、協議会・作業部会を中心として、地域と一体となった体制で推進する。



かわまちづくり推進体制

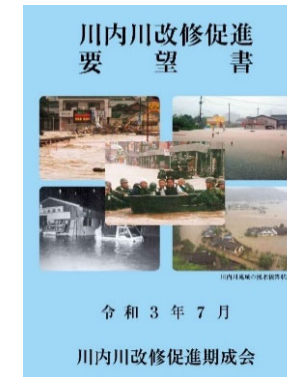
川内川水系かわまちづくり推進協議会等開催状況

開催日	会合名
H27.12.18	川内川水系かわまちづくり計画 準備会
H28.3.18	第1回川内川水系かわまちづくり推進協議会(川内川首長懇談会)
H28.8.3	川内川流域自治体課長会議
H28.8.19	第2回川内川水系かわまちづくり推進協議会
H28.12.18	第3回川内川水系かわまちづくり推進協議会
R3.1.15	第4回川内川水系かわまちづくり推進協議会(書面開催)
R3.3.23	第5回川内川水系かわまちづくり推進協議会

○協議会等開催状況



○要望書



5 令和3年3月に新規箇所等を追加し、計14箇所の計画として変更登録された「川内川水系かわまちづくり」計画に基づいた環境整備事業を推進すること。

2. 事業の必要性等〔川内川総合水系環境整備事業の概要〕

- ◆川内川水系かわまちづくり推進協議会を構成する薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市の5市町は、かわまちづくりを中心とした川内川流域の観光振興に取り組む「かわまちづくり観光振興部会」を平成29年6月12日に設立し、川内川水系かわまちづくりを中心とした“川内川ブランドの確立”“交流人口及び物産販路等の拡大”“地域経済の発展・活性化”を目的として、活発な取り組みを推進している。
- ◆令和2年3月30日にはホームページを開設し、かわまちづくりの情報や川内川流域の観光スポット等を紹介している。
(<https://kawamachi.jp/>)

体験で探す

川内川流域を楽しむための4つの体験をご紹介します。

 <p>川内川を学ぶ</p> <p>川内川は古くから洪水に強く、人や臨場がやさしい治水工事を行っていました。</p> <p>詳しく見る</p>	 <p>遊ぶ・食べる</p> <p>川内川を利用した体験や、郷土の物産品を使ったグルメなどを紹介します。</p> <p>詳しく見る</p>	 <p>観光スポット</p> <p>川内川流域には、多くの自然・景観・見学スポットがあります。</p> <p>詳しく見る</p>	 <p>温泉・泊まる</p> <p>川内川流域の豊富な温泉をご紹介します。いろんな楽しみ方を紹介します。</p> <p>詳しく見る</p>
--	--	---	--








エリアマップで探す

川内川の魅力あるスポットを地図で紹介します。



伊佐市、えびの市、湧水町、さつま町、薩摩川内市



 <p>薩摩川内市 シティセールス</p>	 <p>さつま町</p>	 <p>鹿児島県伊佐市</p>	 <p>湧水町 産業振興課</p>
 <p>えびの市広報</p>	 <p>きゃんぱく 観光振興プログラム</p>	 <p>国土交通省九州地方整備局 川内川河川事務所</p>	

人と川をもっと身近につなげよう
かわまちづくり

かわまちづくりとは | エリア | 体験 | エリアマップ | お問い合わせ | リンク | プライバシーポリシー

川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会
〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22 薩摩川内市 観光・シティセールス課内 TEL：0996-23-5111

2. 事業の必要性等 [川内川総合水系環境整備事業の概要]

＜かわまちづくり観光振興部会の活動実績＞

年度	活動内容
H29年度	・ 川内川水系観光調査・観光振興策の作成
H30年度	・ 位置情報を活用した川内川流域地域の観光客動態の調査、分析 ・ 旅行会社やメディア関係者等を対象としたモニターツアーの実施 ・ 観光客向けの観光リーフレットの作成
R元年度	・ 北薩摩観光物産展で観光PR ・ 「オトナの夢！ラジオ」イベント出演 ・ 認知度向上のための番組作成・放映 ・ 川内川流域の観光素材を発信するためのホームページ作成
R2年度	・ 川内川流域観光を目的としたスタンプラリーの実施 ・ 川内川流域には各市町温泉地があることから、温泉手ぬぐい制作



ステージPR



ラジオ出演 (LOVE FM)

スタンプラリーイメージ



スマートフォンのカメラアプリを起動



観光地等に掲示しているQRコードを撮影



画面の赤線囲みをタップする



チェックインをタップするとポイント獲得

「温泉手ぬぐい」デザイン (令和2年度)



3. 前回評価時からの変化

<全体整備スケジュール>

青：前回評価時

赤：前回からの変更



整備期間



モニタリング期間

整備地区	整備スケジュール																												
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13							
向田地区	[Blue Solid]			前回評価時点				(H23~R1：自治体による公園整備)										[Red Dashed]		今回評価時点									
薩摩川内市街部				前回評価時点			今回評価時点			[Blue Solid]										[Red Dashed]									
③宮之城屋地・虎居地区							[Blue Solid]										[Blue Dashed]												
④さつま町(ホタル)地区							[Blue Solid]										[Blue Dashed]												
さつま町(湯田)地区							前回評価時点			今回評価時点			[Blue Solid]										[Red Dashed]						
鶴田ダム湖周辺							前回評価時点			今回評価時点			[Blue Solid]										[Red Dashed]						
曾木の滝周辺							前回評価時点			今回評価時点			[Blue Solid]										[Red Dashed]						
轟地区							[Blue Solid]										[Blue Dashed]												
湯田地区							[Blue Solid]										[Blue Dashed]												
湯之尾地区	[Blue Solid]						[Blue Solid]										前回評価時点			[Red Dashed]						今回評価時点			
天辰地区																								[Red Dashed]					
時吉地区																								[Red Dashed]					
阿波溪谷地区																								[Red Dashed]					
京町温泉地区																								[Red Dashed]					

3. 前回評価時からの変化

項目	前回評価時 (平成28年度)	今回評価時 (令和3年度)	変更理由
総事業費	約30.1億円 水系全体：全10地区	約44.2億円 水系全体：全14地区	当初箇所における整備内容の追加（湯之尾地区）及び、新たな整備地区の追加（天辰地区、時吉地区、阿波溪谷地区、京町温泉地区）に伴う変更
事業完了年	令和8年度	令和13年度	
B/C	2.3	1.5	
B（便益）	79.0億円	86.8億円	
C（費用）	34.4億円	58.6億円	

※B/Cの算出は、便益を費用で除算することにより算出する。便益はアンケート調査によって求めた年支払い意思額と便益が及ぶ世帯数を積算し、これを社会的割引率を考慮し完成後50年分を足し合わせるにより算出する。費用は社会的割引率等を考慮した事業費と完成後50年分の維持管理費を足し合わせるにより算出する。

4. 事業の投資効果〔費用対効果等〕

＜費用対効果等＞

	事業費	主な整備内容	便益(B)	費用(C)	B/C
全事業	44.2億円		86.8億円	58.6億円	1.5
継続事業					
水辺整備					
川内川水系	44.2億円				
向田地区	7.4億円	昇降階段、昇降施設、階段工 等			
薩摩川内市街部地区	6.2億円	高水敷整正、坂路、階段護岸工、管理用通路 等			
宮之城屋地・虎居地区	3.3億円	高水敷整正、管理用通路、坂路工、階段護岸工 等			
さつま町(ホタル)地区	0.8億円	管理用通路、階段護岸工 等			
さつま町湯田地区	0.9億円	高水敷整正、管理用通路、階段工、階段護岸工 等			
鶴田ダム湖周辺地区	1.5億円	管理用通路、坂路工、階段護岸工 等			
曾木の滝周辺地区	2.9億円	坂路工、階段護岸工、管理用通路、転落防止柵 等			
湯之尾地区	4.0億円	塵芥荷揚場、階段工、階段護岸工、管理用通路、高水敷整正 等			
轟地区	1.3億円	高水敷整正、管理用通路、階段工、階段護岸工 等			
湯田地区	3.5億円	高水敷整正、管理用通路、坂路工、階段工、階段護岸工、護岸工、根固め工 等			
天辰地区	8.4億円	高水敷整正、管理用通路、坂路工、階段工、階段護岸工 等			
時吉地区	0.7億円	管理用通路、階段護岸工、樹木伐採 等			
阿波溪谷地区	1.4億円	階段工、階段護岸工 等			
京町温泉地区	1.9億円	高水敷整正、管理用通路、階段工、階段護岸工 等			
残事業			31.4億円	19.2億円	1.6

※残事業のうちモニタリングのみの地区は残事業の便益は見込んでいない。

	アンケート実施時期	アンケート配布数	有効回答数	集計範囲	集計世帯数	支払い意思額(円/月・世帯)
川内川水系	令和3年度	4,900	523	薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市	77,886	423

4. 事業の投資効果 [まとめ]

《効果名》

【効果の概要】

①便益の算出：約86.8億円

(良好な景観の形成、人と自然の豊かな触れ合い活動の場の確保、河川空間利用の増進等)

②歴史的文化を活かした教育効果：歴史的遺構の見学ツアーや地域の伝統行事 開催にあたっての利便性・安全性の向上

P11、12

③地域のにぎわいの創出：カヌー・ボート競技大会、水辺イベントの開催の場 観光船（ホタル舟等）の発着の場として活用 サイクリングを通じた流域全体の繋がり

P10、P11
P16～20

④治水安全性の向上：河川空間の利用者の安全性向上、巡視・管理の円滑化

P7、P16～20

⑤良好な自然環境の保全：地域が主体となった河川周辺の除草・清掃活動 河川を活用した野外学習（水生生物調査等）

P12

⑥費用対効果分析（算定に用いた効果①）

全体事業（B/C）：1.5

5. 事業の進捗の見込み・コスト縮減や事業手法、施設規模等の見直しの可能性

(1) 今後の事業展開

◆川内川水系では、平成22年度に「かわまちづくり」に係る環境整備事業に着手しており、引き続き地元自治体や地域住民等と協力して事業を進め、令和8年度までに整備予定の14地区の整備を完了させる予定である。各地区、整備完了後は、モニタリング調査等を実施し、令和13年度に事業完了予定である。

(2) 今後の事業の進捗の見込み

◆事業進捗に支障となる課題等はなく、関係5市町の首長及び鹿児島県、宮崎県から構成される「川内川水系かわまちづくり推進協議会」や、その実践組織となる「地区協議会」等を継続的に開催し、整備や利活用、維持管理等について活発な議論を行っており、地域の協力体制により今後も順調な事業進捗が見込まれる。

(3) 事業手法、施設規模等の見直しの可能性

◆各地区の詳細な整備内容については、具体的な計画段階において地区協議会等を開催して議論を重ね、河川管理面、河川利活用面等を考慮した上での適切な整備内容となっており、現計画が最適と考えている。

(4) コスト縮減の方策

◆近年の技術開発の進展に伴う新工法等の採用による新たなコスト縮減の可能性等を探りながら、事業を進めていく方針である。

6. 対応方針（原案）

① 川内川流域では、これまで各所で行政、地域、企業と連携した水辺整備を実施してきたが、さらに流域全体で一体的に推進するため、「かわ」と「まち」のつながりを強化・再構築することに効果的な地区において、川内川を基軸とした地域連携、地域活性化につながる安全に安心して利用できる水辺空間の整備を強く要望されている。このため、管理用通路、高水敷、護岸等の環境整備事業を行うものである。

② 平成28年3月の「川内川首長会議」で「川内川水系かわまちづくり推進協議会」の設置が決定され、整備済みの箇所は、検討した維持管理方法を実施しており、今後の箇所についても具体的な整備内容や利活用、維持管理方法について、地区住民代表が参加する地区協議会、作業部会等で引き続き検討する。
以上より、地域の協力体制が整っている。

以上のことより、事業を実施することで自然豊かな心地よい水辺空間の形成が期待でき、費用対効果についても確保されている事業であることから、引き続き事業を継続することとしたい。